

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち
 施策 01 学校教育の充実
 主管課： 学校教育課
 関係課： 企画課、指導室、学校給食センター

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 児童生徒	意図（どのような状態にしたいのか） 学校生活を楽しく過ごし、心身ともに健康で人間性豊かな人に成長できるまちをつくる。 社会の変化に対応した行動ができる子どもを育成する。
--------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

学校が楽しいと思う児童の割合（小学生）						(%)	学校教育課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)		
92.70	95.10	95.10	95.10	0.00	95.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度に比べて4.0ポイント上昇し、目標値を達成しています。 (原因) 今回の調査は、前年同様、年度初めの学級に安定性が欠ける時期に行ったものですが、年度初めに行った調査での指標としては高いものと思われます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

学校が楽しいと思う生徒の割合（中学生）						(%)	学校教育課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)		
85.80	93.80	94.00	95.00	0.00	90.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度に比べて1.3ポイント上昇し、目標値を達成しています。 (原因) 今回の調査は、前年同様、年度初めの学級に安定性が欠ける時期に行ったものですが、学力テスト正答率が県平均を全ての教科で上回っているなど、学習面でのストレスが軽減されていることが考えられます。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,497,475	1,581,537	1,822,046	2,124,778	2,575,270
人件費	0	40,197	48,163	0	0
トータルコスト	1,497,475	1,621,734	1,870,209	2,124,778	2,575,270

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 確かな学力の育成	横ば	横ば	横ば		38,294	29,410	72,244	88,083	88,083
02 豊かな心を育む教育の推進	向上	横ば			1,296	23,593	24,992	27,259	27,259
03 健康と体力を育む教育の推進	向上	低下	向上		456,634	473,399	494,363	507,928	507,926
04 時代の変化や国際化に対応できる教育の推進	横ば	向上			250,581	209,465	251,245	251,401	263,025
05 開かれた学校づくりと学校・家庭・地域の連携	向上	横ば			0	0	0	0	0
06 安全・安心な教育環境の整備	向上				588,240	617,670	693,841	911,359	1,352,668
99 施策の総合推進					162,430	228,000	285,361	338,748	336,309

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>学校と総合教育支援センターが連携し、不登校の未然防止や早期対応に努めていきます。体育指導の工夫、外遊びの勧め、部活動指導員を活用した部活動の活性化等により児童生徒の体力向上を図っていきます。</p> <p>外国語指導助手（ALT）を引き続き全校に配置し、国際理解教育を進めます。また、ICT（情報通信技術）支援員を積極的に活用し、効果的な学習に取り組めます。</p> <p>開かれた学校づくりを進めるため、各学校の目標や教育方針について積極的な情報発信を行い、学校教育の成果を可視化できるよう努めます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>総合教育支援センターも設立2年目を迎え、教育相談、適応指導教室、就学相談の各事業が軌道に乗りはじめましたが、各事業が更に機能するためには相談員の増員が必要です。</p> <p>体育指導や業間運動、体育的行事を積極的に取り入れ、体力の向上に努めました。</p> <p>ICT（情報通信技術）支援員を積極的に活用し、ICT機器を使用した指導力は、かなり向上しましたが、活用の仕方に個人差が生じており、今後も、授業づくりや研修の充実に努める必要があります。</p> <p>ホームページ等で積極的に情報発信をし、教育方針や教育活動の理解啓発に努めました。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>「子育て王国もりや」の実現に向け、前・後期制を導入し、週3日の5時間授業を実施することで、児童生徒の学習効果の最大化を図る。</p> <p>児童生徒に安全で安定した給食を提供するため、学校給食センターの改築に向け、準備を進める。</p> <p>児童生徒の自主的な学習活動を支援するため、学校図書館の充実を図るとともに、直営となる中央図書館との連携を強化する。</p> <p>児童生徒の安全・安心の確保のため、市及び学校にいじめ対策本部を設置し、総合教育支</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加